外郭団体ミッション遂行評価票　　　　【平成２８年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市学校給食協会	所管課	教育委員会 学校保健課

団体に対するミッション

①学校給食の食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行うことで、天候や社会状況の影響をより軽減し、食材を安定的に供給する。

②学校給食で使用する食材については、地産地消の考え方に基づき、まずは市内産、市内産でも確保しにくい場合は県内産、そして九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。

行財政改革大綱における見直し内容

今後も、市立小中学校・特別支援学校に、安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進めるなど、食育の推進を図る。
また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っていくことにより、さらなる経費削減に努める。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行い、食材の安定的な供給を目指す。 また、学校給食で使用する食材については、市内産、県内産、九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27	H28		H29	H30	H31	H32
	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
重大事故による給食の提供中止	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
地場産物の使用割合（品目比ベース）	37.5%	前年比増	38.10%	前年比増	前年比増	前年比増	前年比増
地場産物の使用割合（重量比ベース）	16.3%	前年比増	16.00%	前年比増	前年比増	前年比増	前年比増

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）

団体における評価	食材の選定・検査を適切に実施し、重大な事故を招くことなく、安定的に食材供給を行うことができた点では、与えられたミッションを達成することができた。 一方、地場産物の使用割合については、重量比ベースで目標を達成することができなかったが、これは天候不順による生育不良等が主な原因であり、致し方ないと考える。	市の評価	重大な事故なく、年間を通じて安定的な給食物資の調達を行えていることは評価できる。 地場産物の使用割合（重量比ベース）が目標に達していないが、天候不順よる生育不良が主な原因ということで、不可効力な面もあるため、今後も引き続き、関係機関との連携を図りながら、地場産物の確保に取り組んでいく必要があると考える。
今後の課題及び見直し内容（案）	地場産物の使用割合（品目比ベース,重量比ベース）を増加させるために、年11回開催される学校給食用物資地産地消推進協議会において地場産物を学校給食用に提供できるよう協力を依頼していく。	団体への改善指導内容（案）	学校給食用物資地産地消推進協議会の場を活用するなど、生産者とより密な情報共有を行い、地場産物の使用割合増加に努めるよう指導していく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	ー

安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進め、食育の推進を図っている。
また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っている。なお、可能な限り、経費削減にも努めている。